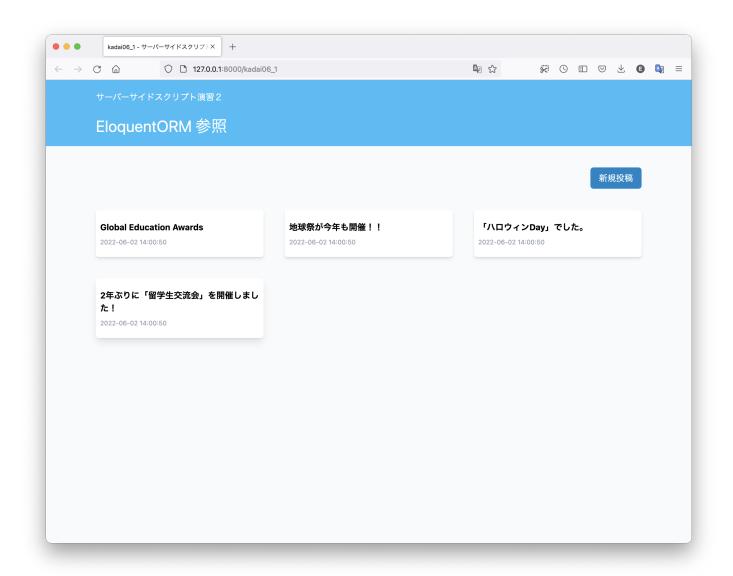
kadai06_1

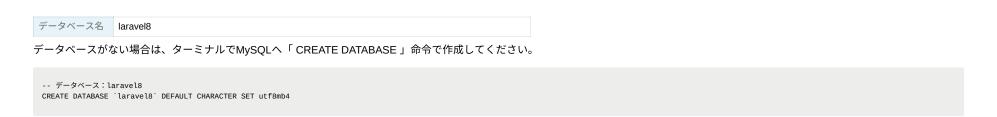
LaravelのEloquentORMを使って、MySQLデータベースからレコードを抽出します。



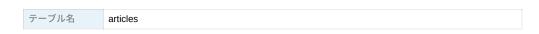
作成するファイル

- Kadai06_1Controller.php
- Article.php (モデル)
- {タイムスタンプ}_create_articles_table.php (マイグレーション)
- ArticlesTableSeeder.php $(\flat \not\!\! S -)$

データベースの作成



投稿テーブルの作成



テーブル構造

column	type	SIZE	option	option
id	BIGINT		AUTO_INCREMENT	PRIMARY KEY
title	VARCHAR	255	NOT NULL	
body	TEXT		l I	
created_at	TIMESTAMP		DEFAULT CURRENT_TIMESTAMP	
updated_at	TIMESTAMP		DEFAULT CURRENT_TIMESTAMP	ON UPDATE CURRENT_TIMESTAMP
deleted_at	TIMESTAMP		l I	

マイグレーションの作成

artisanコマンドを使って、投稿テーブルのマイグレーションファイルを作成しましょう。

```
php artisan make:migration create_articles_table
```

upメソッドの処理

投稿テーブルに必要なカラムを定義してください。

```
* Run the migrations.

* @return void

*/
public function up()
{

Schema::create('articles', function (Blueprint $table) {
    $table->sid()->unsigned();
    $table->string('title', 255 );
    $table->string('title', 255 );
    $table->string('p->nullable();
    $table->rimestamp('created_at')->useCurrent();
    $table->timestamp('updated_at')->useCurrent()->useCurrent()->useCurrent()->useCurrent()->useCurrent();
}
});
}
```

Articleの作成

artisanコマンドで投稿テーブルのモデル「 **Article** 」を作成してください。

```
php artisan make:model Article
```

Articleの設定

レコードの削除は、論理削除でおこなうため、「 SoftDeletes 」をuseで指定してください。

投稿テーブル用シーダーの作成

投稿テーブルにテストデータを準備するためのシーダーファイルを作成してください。

```
php artisan make:seeder ArticlesTableSeeder
```

runメソッドの処理

2

シーダーファイルで定義したテストデータを、artisanコマンドの「db:seed 」を使って挿入してください。

DatabaseSeederへの登録

準備した投稿テーブル用のシーダーをDatabaseSeederのrunメソッドへ追加してください。

シーダーの実行

php artisan db:seed

Kadai06_1Controllerの作成

artisanコマンドを使って、**Kadai06_1Controller.php**を作成してください。

artisanコマンドでコントローラを作成する際に「 --resource 」を付けて、CRUD用のメソッドを自動的に定義された状態で作成してください。

indexメソッドの処理

articlesテーブルからすべてのレコードを抽出してください。

viewヘルパーで、表示するページ「 kadai 06_1 .blade.php 」を指定して、articlesテーブルから抽出したレコードデータを渡してください。

ビューの作成

kadai06_1ビュー

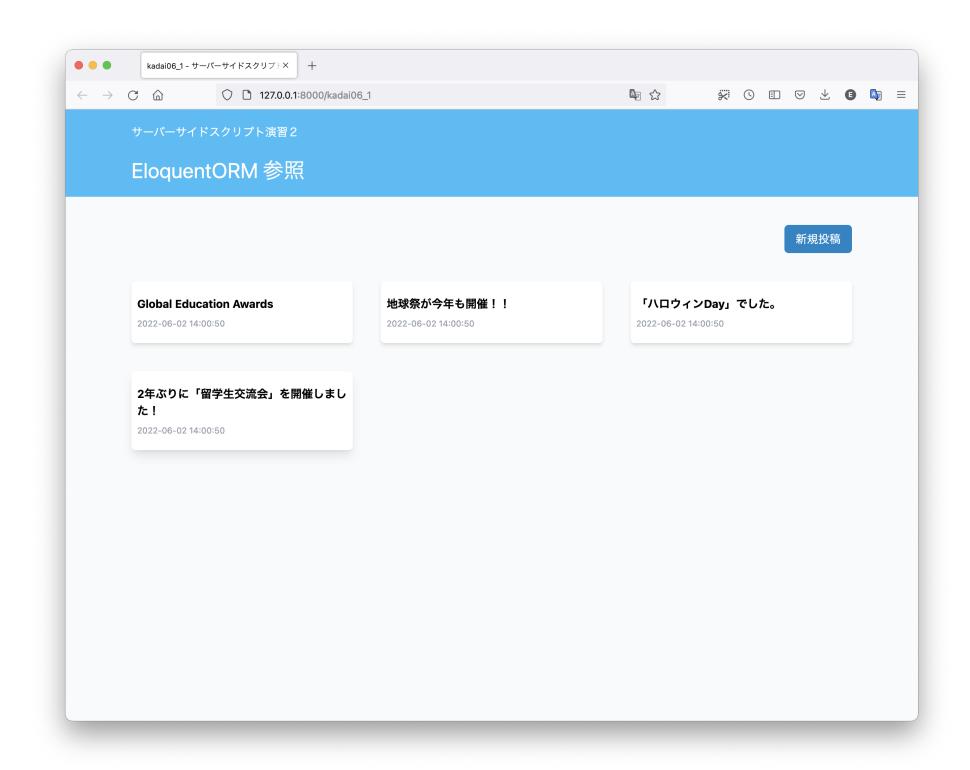
投稿記事一覧を表示するページになります。

```
タイトル kadai06_1
課題の見出し EloquentORM 参照
```

投稿テーブルに登録されているすべての投稿記事を表示してください。

コンテンツ部分のHTML構造

3



ルーティングの設定

「 **Route::resource** 」でkadai06_1へ各メソッドごとのルーティング設定を一括で指定してください。



チェック

PHPサーバーを起動して、正常に表示されるかを確認しましょう。

http://127.0.0.1:8000/kadai06_1

kadai06_1 4